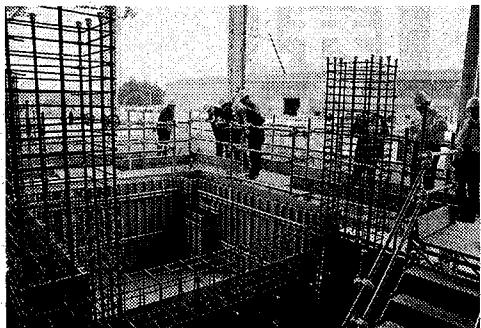


2015年(平成27年)10月22日(木曜日)

## 宮城・大衡村に鉄筋モックアップ 不良個所で配筋検査

J S C A 東北



日本建築構造技術者協会東北支部（J S C A 東北、加藤重信支部長）が創立30周年記念事業として宮城県大衡村のサンエーテック内に設置する配筋検査研修用の鉄筋モックアップが完成し、20日に本部と支部会員に披露された。モックアップにはあらかじめ不良部分が100カ所程度盛り込まれており、5年間の設置期間中に構造設計者や工事管理者、鉄筋工事業従事者のほか、学生など延べ1,200人の来訪を見込む。

基礎や地中梁、柱、梁、床の配筋と仮設道路を含むモックアップの設置面積は約180平方㍍。研修では、検査内容やチェックリストの説明、検査ポイントなどの事前講習の後、正しい図面をもとにモックアップを使用した配筋検査を実施する。受講者による発表や討論などを行う。

本部の伊藤優技術委員長は「われわれでも気付きにくい間違いも多く、改めて勉強になる施設だ。鉄筋工事に携わるさまざまな立場の企業や団体に活用していただき、現場を見る目を養い、業務に生かしてほしい」と積極的な活用を呼び掛けている。

卷之三

# J S C A 東北 鉄筋検査研修施設の運用開始

本年は、大會に完成した研究施設の鉄筋アーチ橋で、藤巣優技術委員長が回った。本部の10人支那から、入会の計17人が参加しました。

日本建築技術者協会（JCTC）東北支部（加藤重文部長）が  
宮城県大衡に構設していた鉄筋検査研修施設を完成し、20日にこり  
A本部と同支部の見学会が開かれた。司設では、配筋の誤りなど  
不良部分を取り除いた鉄筋モルタルを使用し、配筋図に照らして  
て「いい」と語った。社員教育に力を傾注してほしいと希望する  
同支部は、担任手確保のため、鉄筋検査研修施設には、技術力の向上にむけ  
る「エクサマ」の開設を計画している。